

# 豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号

5

関連(下水道課治水担当/環境課環境保全担当)

## 1 施策の概要

1-1 施策の名称	水辺空間の保全と再生			基本施策コード	1 2 1
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	土木課	評価票作成者 土木課長 犬塚豊和
1-3 総合計画における施策の体系	節	生活環境「安全・安心で、うるおいのあるまちづくり」			
	項	水と緑の環境づくり			
1-4 施策の目的	潤いのある水辺空間、安全な水辺空間の整備等により、市民が自然と触れ合う機会の場を提供する。				

	平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)
担当課評価		
総合評価		

施策評価の判定基準  
 A : 施策の目的を効果的に達成しているため継続する  
 B : 施策推進の実施手法等に改善の必要がある

1-5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名	前期(平成18年度~平成22年度)			全期間(平成23年度~平成27年度)			指標の定義
		目標値(単位)	実績値(単位)	達成率(%)	目標値(単位)	実績値(単位)	達成率(%)	
	水辺の親しみやすさに対する満足度	70.0(%)			75.0(%)			河川やため池への関心度

## 2 施策推進の状況

2-1 施策全体に係る合計コストの推移(千円)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	直接事業費	12,500								
	人件費	1,340								
	合計コスト	13,840								

## 3 施策の担当課による評価結果

3-1 評価結果	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	<input checked="" type="checkbox"/> 良好に進展 <input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好に進展 <input type="checkbox"/> 良好でない								

3-2 評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価	
	平成18年度	ため池は多目的側面を有し関係者も多く共通認識が必要。	整備後において維持管理業務が発生し将来的には地域との連携も必要。	当初計画より遅れを生じているが引き続き事業主体に働きかけていく
	平成19年度			
	平成20年度			
	平成21年度			
	平成22年度			
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
平成27年度				

4 参考情報

4 - 1 施策を構成する事務事業の評価情報			平成18年度			総合評価
番号	事務事業名称	成果指標と最終目標値(単位)	実績値	担当課 評価	担当課判断優先順位	
1	勅使池整備事業(多自然型護岸の整備)	親水護岸整備(整備延長) 1,660(m)	110(m)	A	1	A
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						